

県内の地形について

県内の土砂災害(特別)警戒区域

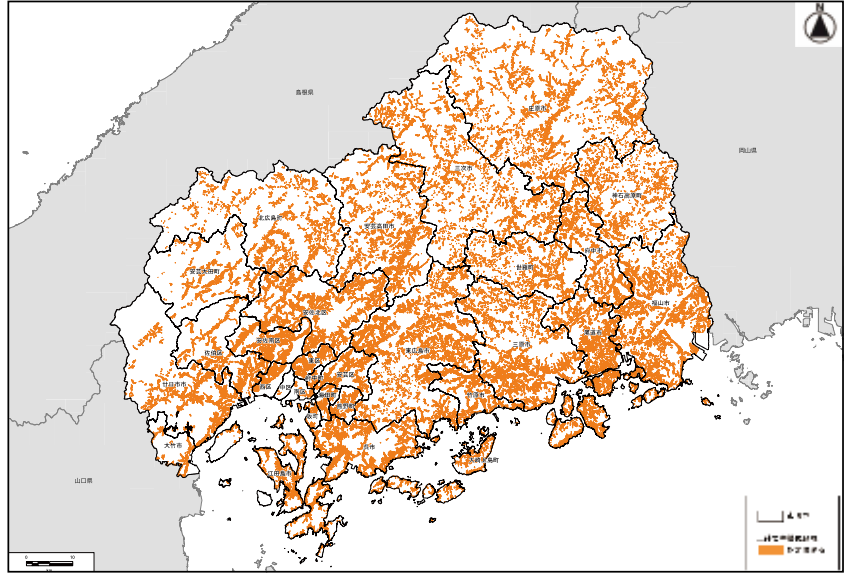
広島県の土砂災害のおそれがある箇所(土砂災害(特別)警戒区域)は、約48,000箇所と、全国で最も多い県です。

土砂災害(特別)警戒区域については、「土砂災害ポータルひろしま」で確認することができます。

土砂災害 ポータルひろしま

🔍 検索

土砂災害(特別)警戒区域



「土砂災害防止法」で区域に指定されると…

【土砂災害警戒区域】

- 土砂災害が発生した場合に、住民の生命などに被害のおそれがある区域

【土砂災害特別警戒区域】

- 土砂災害が発生した場合に、建物が破壊され、住民の生命などに大きな被害が生じるおそれがある区域

警戒区域では



警戒避難体制の整備

土砂災害から生命を守るため、災害情報の伝達や避難が早くできるように警戒避難体制の整備が図られます。

【市町】

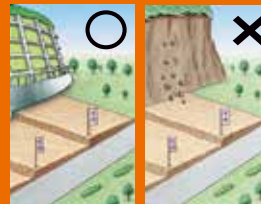
特別警戒区域ではさらに



建築物の構造規制

居室を有する建築物は、作用すると想定される衝撃などに対して建築物の構造が安全であるかどうか建築確認がされます。

【建築主事を置く地方公共団体】



特定の開発行為に対する許可制

住宅宅地分譲や災害時要援護者関連施設の建築のための開発行為は、基準に従ったものに限って許可されます。

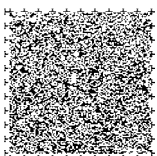
【都道府県】



建築物の移転勧告

著しい損壊が生じるおそれのある建築物の所有者などに対し、移転等の勧告が図られます。

【都道府県】



県内の河川






広島県の総面積の約7割は、一級河川の太田川、江の川、芦田川の3つの流域が占めています。このほかに高梁川、小瀬川の一級河川があり、沼田川、黒瀬川をはじめとする二級河川は瀬戸内海沿岸部及び島しょ部に分布しています。これらの河川のうち、中国地方で最大の流域を持つ江の川は、中国山地を貫いて日本海側に流れている唯一の河川です。

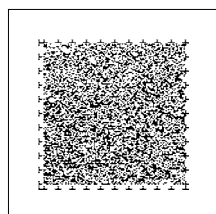
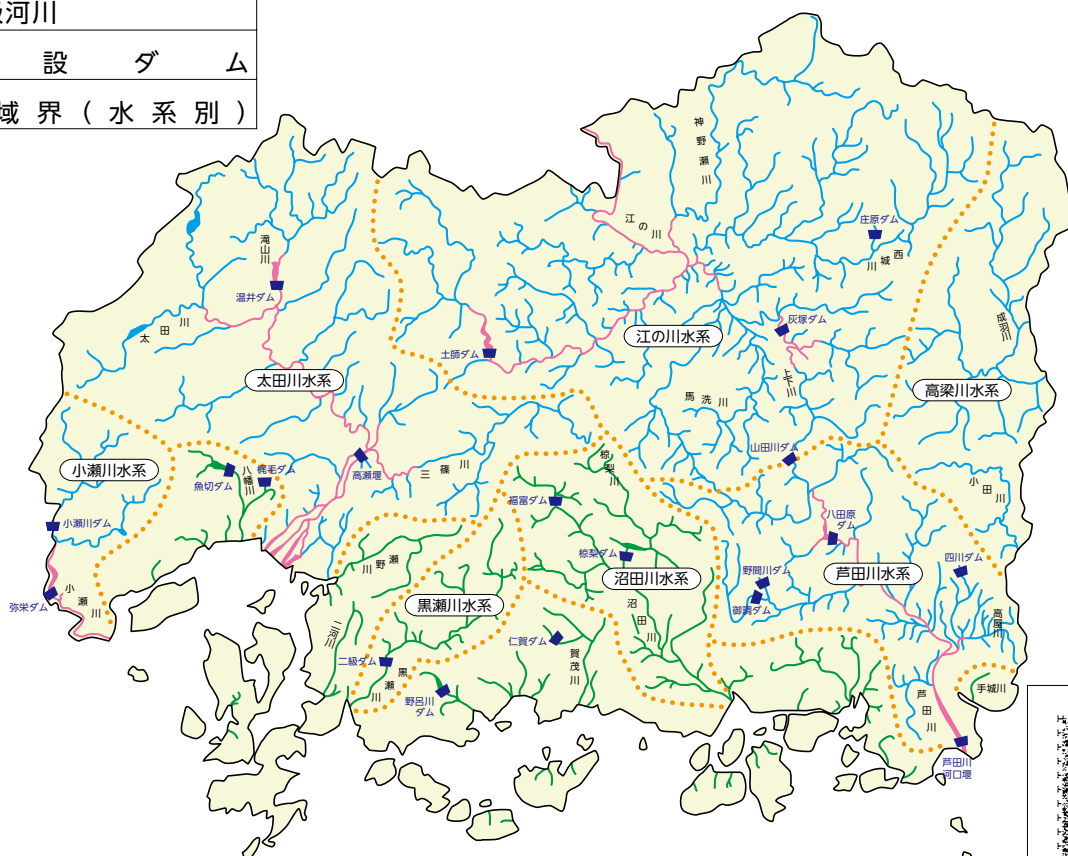
広島県内の河川数など

(平成31年3月31日現在、広島県内分)

水系名	流域面積(km ²)	総河川延長(km)	河川数
一級河川 江の川	2,625	1,096.8	173
一級河川 太田川	1,710	597.3	74
一級河川 芦田川	840	405.9	82
一級河川 高梁川	711	237.9	29
一級河川 小瀬川	270	104.7	10
一級河川 計	6,156	2,442.6	368

水系名	流域面積(km ²)	総河川延長(km)	河川数
二級河川 沼田川	540	225.9	45
二級河川 黒瀬川	239	105.0	23
二級河川 瀬野川	122	44.6	5
二級河川 八幡川	83	39.1	4
二級河川 賀茂川	76	30.6	3
その他二級河川	490	182.5	57
二級河川 計	1,550	627.7	137
広島県 計	7,706	3,070.3	505

凡例	
	一級河川(大臣管理区間)
	一級河川(知事管理区間)
	二級河川
	既設ダム
	流域界(水系別)



「ひろしまマイ・タイムライン」ってなに？

- 雨や風は事前に予測できるので、風水害が発生する前に避難をすることができます。
- 避難に備えた行動を一人ひとりがあらかじめ決めたものが、マイ・タイムラインです。
- 一人ひとりで、家族で、地域で、それぞれのマイ・タイムラインをつくってみましょう。
- このマイ・タイムラインの作成を通じて、しっかり準備をすすめて、風水害から身を守りましょう。

どんなときに使うの？

「ひろしまマイ・タイムライン」は、風水害が発生するかもしれない「3つの気象状況」が、まさに身の周りに起こりそうな場合に使います。



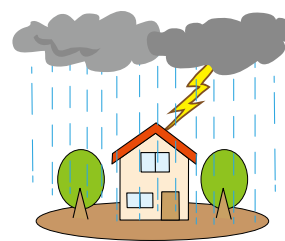
台風が近づいて いるとき

ニュースで3～5日後に台風が直撃するおそれがあると報道されたときは、**土砂災害・河川の氾濫・高潮の発生のおそれが考えられます。**



大雨が 長引くとき

天気予報で、大雨がまだ2～3日続くと予想されているときは、**土砂災害・河川の氾濫の発生のおそれが考えられます。**



短時間の急激な豪雨 が発生するとき

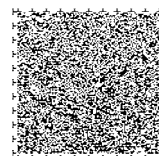
天気予報で、夕方、突発的に大雨や雷を伴った豪雨が降る可能性があると呼びかけたときは、**土砂災害・河川の氾濫の発生のおそれが考えられます。**

- それでは24ページ以降で3つの気象状況を確認してみましょう。

マイ・タイム ラインを つくろう。

目次

気象状況を確認する	024
マイ・タイムラインをつくろう	026
①ハザードマップを確認する	028
②避難情報や防災気象情報を確認する	030
つくり方を確認する	032
1 避難先を記入する	
2 避難情報や気象情報から避難のタイミングを考える	
3 避難開始・避難完了のシールを貼る	
4 避難開始までの行動を考えてシールを貼る	
5 地域に対しての行動を考えてシールを貼る	
避難への備えや家族との連絡方法を考える	038
避難行動判定フローを確認する	040
マイ・タイムラインの使用時の注意点	044
マイ・タイムライン作成例	046



気象状況を確認する

台風が近づいているとき

- 台風が接近・上陸すると強風や大雨を伴い、高潮を引き起こすこともあります。
- 台風の経路は、予報と変わる可能性があるため、天気予報をこまめに確認しましょう。

まずは台風から作ってみよう



大雨が長引くとき

- 梅雨前線、秋雨前線が同じ場所から動かないとき、または線状降水帯が発生したときは大きな災害に結びつくことがあります。
- 天気予報で「梅雨前線、秋雨前線、線状降水帯」という言葉を聞いたら、注意が必要です。



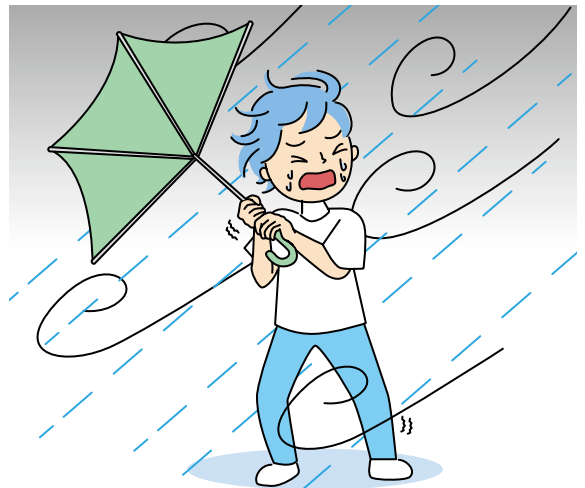
短時間の急激な豪雨が発生するとき

- 短時間の急激な豪雨(ゲリラ豪雨とも呼ばれています)は7月~9月頃に発生しやすく、1時間に50mm以上の非常に激しい雨が降ることがあります。
- 晴れていても、天気予報で、「大気の状態が不安定」や「雷注意報発表」などという言葉が聞いたら、注意が必要です。



避難のポイントになること

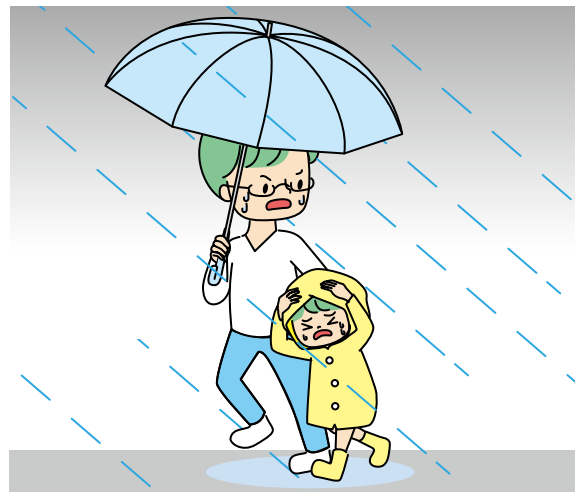
- 台風による大雨や高潮で避難が必要な場合は、風が強くなる前に避難しましょう(強風のときは移動が困難となります)。



マイ・タイムラインをつくらう。

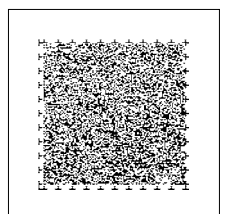
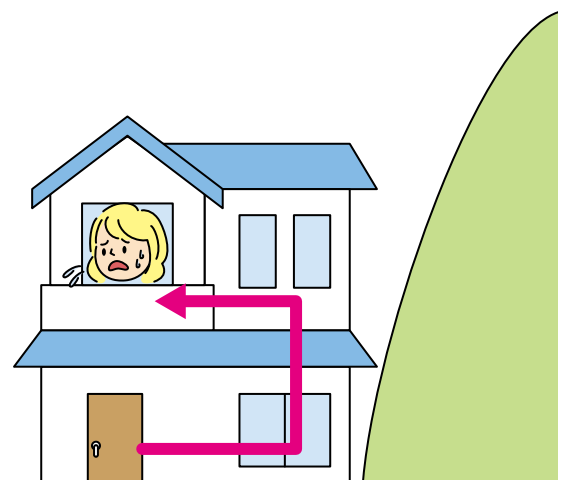
避難のポイントになること

- 大雨が降り続いた場合、山や谷、がけが崩れやすくなります。避難情報や「土砂災害警戒情報」の防災情報を聞いたたら、早めに避難しましょう。



避難のポイントになること

- 急に強い雨が降りだすため、避難の準備のための時間はほとんどありません。
- 避難先までの移動が危険と思われる場合は、自宅2階以上の山の反対側の部屋や近くの頑丈な建物の上階へ避難(垂直避難)しましょう。



マイ・タイムラインをつくろう

●「ひろしまマイ・タイムライン」セットには、下記のものが入っています。

ケース



ガイドブック(本冊子)



マイ・タイムラインをつくるためのガイドブックです。

マイ・タイムラインシート



台風、大雨、急激な豪雨の3種類が入っています。

必要な情報



シール



シールは貼り剥がし可能なので一度作成したマイ・タイムラインは何度でも見直すことができます。

風水害に備えて、必要となる情報を紹介しています。

マイ・タイムラインを簡単につくるためのシールです。

マイ・タイムラインをつくるために必要な2つのポイント

①ハザードマップを確認する

自分の身に起こりやすい災害のリスクがわかると、どの情報入手すれば良いかわかります。(P.28～29参照)



②避難情報や防災気象情報を確認する

気象情報や避難情報の意味や入手方法を確認しましょう。また、避難の準備や開始のタイミングを決める目安となります。(P.30～31参照)

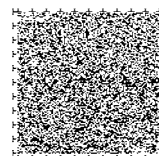
マイ・タイムラインの作成ポイントを掲載した動画もあります

- 減災ポータルサイト「広島県『みんなで減災』はじめの一步」に「ひろしまマイ・タイムライン」の専用ホームページを作成し、マイ・タイムラインの作成ポイントを掲載した動画も配信しています。



減災 はじめの一步 マイ・タイムライン

検索



①ハザードマップを確認する

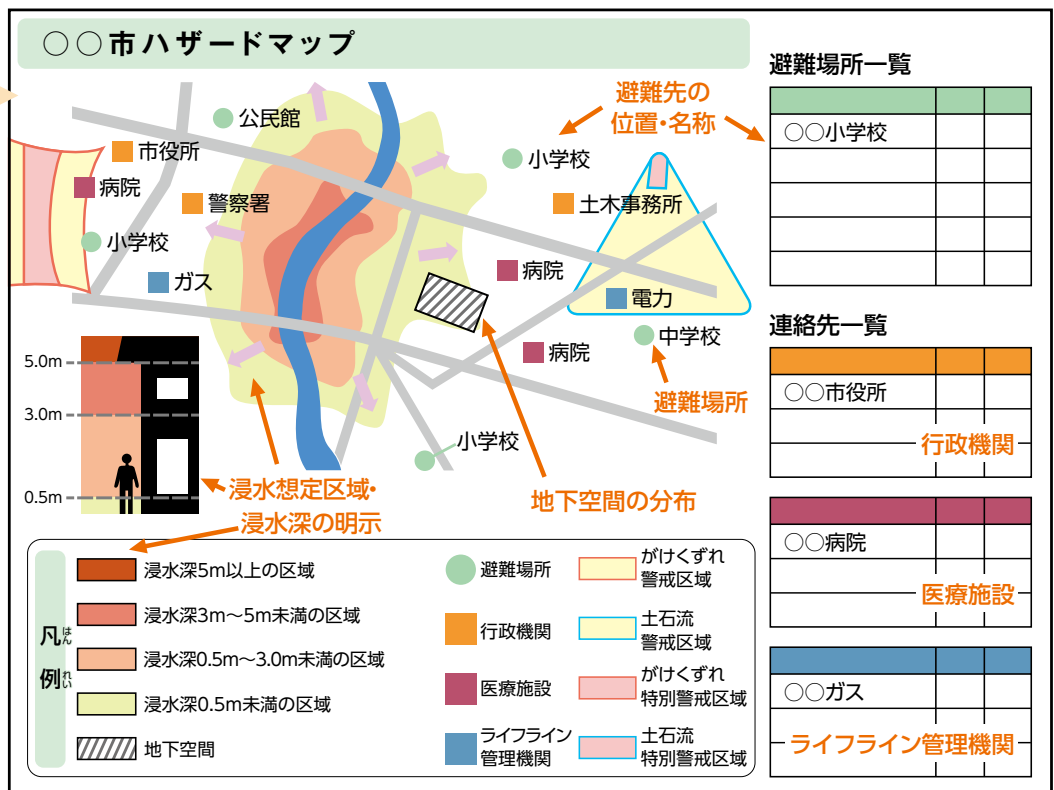
ハザードマップ※とは

※防災マップなどと呼ばれることもあります。
最新の情報で確認しましょう。

- 被害が想定されるエリアや避難する場所などを表示した地図のことで、市町ごとに作成されています。
- 土砂災害、洪水、高潮などによって被害が異なるので、ハザードマップは災害種別ごとに確認しましょう。
- 自宅にハザードマップがあるか確認してみましょう。自宅にない場合は、各市町の窓口またはホームページなどで入手できます。

マイ・タイムラインをつくらう。

エリアごとに浸水する深さが示されています。例えば、浸水する深さが3.0mのエリアであれば、1階相当が水没、5.0mであれば2階相当が水没することが示されています。



ハザードマップの入手方法

- お住まいの地域のハザードマップ検索
- 広島県のハザードマップ公表状況
- 国土交通省ハザードマップポータルサイト

〇〇市 ハザードマップ 検索



 シートに書いてみよう! 

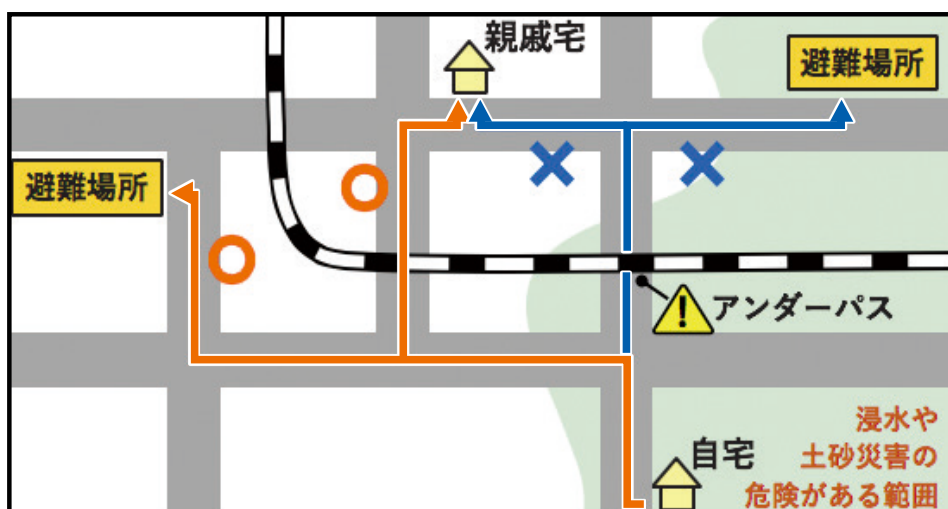
自分の住んでいる地域に起こりうる災害を確認する

- ハザードマップを見て、「**①**自宅が浸水や土砂災害のおそれがある」、「**②**自宅が浸水や土砂災害のおそれがあるエリアに近い」*場合は、マイ・タイムライン作成用『行動』シールの◎のシールを「必要な情報」のシートのチェック欄に貼りましょう。

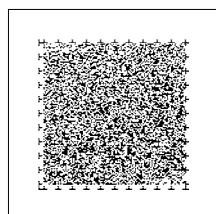
*ハザードマップはあくまでも想定なので**②**の場合もチェック欄に◎のシールを貼りましょう。

- 「**③**自宅が被災の可能性のあるエリアから離れている場合」でもお住まいの市町で被災が想定されるエリアがある場合は、自宅への影響がなくても、チェック欄に○のシールを貼って、お住まいの市町の情報に注意しましょう。

- ◎の場合は、あてはまる災害に関する情報は必ず確認し、○の場合は、状況に応じて確認しましょう。
(P.31参照)



マイ・タイムラインをつくろう。



② 避難情報や防災気象情報を確認する

風水害から身を守るためには気象情報に注意

● 台風、大雨などに関する警報や注意報などは、気象庁から発表されます。

【気象特別警報・警報・注意報】

発生のおそれがある気象災害の重大さや可能性に応じて特別警報・警報・注意報が発表されます。

種類	気象状況	内容
特別警報	大雨(土砂災害、浸水害)、暴風など	重大な災害の起こるおそれが著しく大きい場合に発表
警報	大雨(土砂災害、浸水害)、洪水、暴風、高潮など	重大な災害の起こるおそれがある場合に発表
注意報	大雨、洪水、強風、高潮など	災害の起こるおそれがある場合に発表

【指定河川洪水予報】 ※気象庁と河川管理者(国や県)が共同で発表。

あらかじめ指定された河川の区間について水位または流量を示して発表される警報や注意報です。

洪水予報の標題(種類)	求める行動の段階
〇〇川氾濫発生情報(洪水警報)	氾濫水への警戒を求める段階
〇〇川氾濫危険情報(洪水警報)	いつ氾濫してもおかしくない状態 避難などの氾濫発生に対する対応を求める段階
〇〇川氾濫警戒情報(洪水警報)	避難準備などの氾濫発生に対する警戒を求める段階
〇〇川氾濫注意情報(洪水注意報)	氾濫発生に対する注意を求める段階

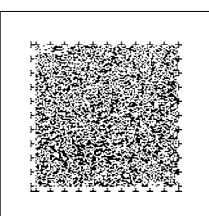
※県内で指定されている河川(洪水予報河川)。

江の川上流、神野瀬川、馬洗川、西城川、小瀬川、太田川上流、太田川下流、三篠川、根谷川、芦田川、高屋川、沼田川水系沼田川、黒瀬川水系黒瀬川。

※その他の河川については、「洪水ポータルひろしま」や気象庁のホームページ(洪水警報の危険度分布)で確認しましょう。

【土砂災害警戒情報】 ※気象庁と都道府県が共同で発表。

大雨警報(土砂災害)の発表後、土砂災害発生の危険度がさらに高まったときに、対象となる市町を特定して警戒を呼びかける情報です。



※土砂災害警戒情報は、「土砂災害ポータルひろしま」や気象庁のホームページ(土砂災害警戒情報)などから確認しましょう。

※これらの情報の詳細は気象庁のホームページを確認してみましょう。

市町からの避難情報にも注意

- 避難に関する情報は、市町から発令されます。
- 水害・土砂災害について、市町が出す避難情報と国や都道府県が出す防災気象情報を、直感的にわかるように5段階に整理しています。
- 必ずしもこの順番で発令されるとは限らないので、ご注意ください。

<p>名 称：警戒レベル 発信者：市町など 内 容：避難情報</p>
--

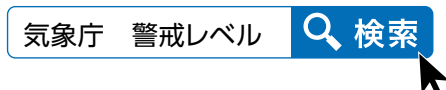
<p>名 称：警戒レベル相当情報 発信者：気象庁や県など 内 容：土砂災害の情報や河川水位など</p>

警戒レベル	住民がとるべき行動	避難情報など
5	命を守る最善の行動	災害発生情報
4	危険な場所から全員避難	避難勧告 (避難指示(緊急))
3	危険な場所から高齢者等は避難	避難準備・ 高齢者等避難開始
2	ハザードマップなどで避難方法を確認	大雨注意報・洪水注意報・高潮注意報
1	最新情報に注意	早期注意情報

防災気象情報(警戒レベル相当情報)		
	浸水の情報(河川)	土砂災害の情報(雨)
5相当	氾濫発生情報	大雨特別警報 (土砂災害)
4相当	氾濫危険情報	土砂災害警戒情報
3相当	氾濫警戒情報 洪水警報	大雨警報
2相当	氾濫注意情報	—
1相当	—	—

※上表は、主なものを示しています。その他の情報については、気象庁ホームページなどを参照してください。

情報の入手方法



- 情報の入手方法をおさえておくことも重要であり、ハザードマップで確認した、地域で起こりうる災害に該当する情報について、「必要な情報」シートにチェックをして、入手方法を確認してみましょう。

※シートに書いてある方法以外でも入手できます。自分や家族に合った方法を決めておきましょう。



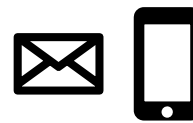
テレビ・ラジオ



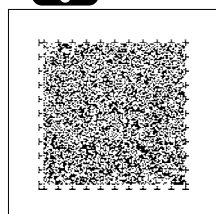
市町のホームページ
広島県防災Web



自治体のメール配信サービス
緊急速報メール・民間防災アプリ



※情報の伝達方法は、防災無線、テレビなどさまざま、各市町で違いがありますので、ご注意ください。



つくり方を確認する

次の**1**～**5**の手順でシールを貼って、マイ・タイムラインを完成させましょう。

- 1** 避難先を記入する。
- 2** 避難情報や気象情報から避難のタイミングを考える。
- 3** 避難開始・避難完了のシールを貼る。
- 4** 避難開始までの行動を考えてシールを貼る。
- 5** 地域に対しての行動を考えてシールを貼る。



「行動」シールの使用方法

- マイ・タイムラインシートの行動欄に貼るシールには、「避難開始」、「避難完了」、「全ての避難準備にかかる時間」が書かれたシールと「空白シール」があります。
- 「空白シール」は、自分で必要と思うことを自由に書き込んで使用します。



「入手情報チェック」シールの使用方法

- ◎のシールは自宅が災害の想定区域内にあるときに、○のシールはお住まいの市町で災害が想定される場合に必要な情報の該当する災害のチェック欄に貼りつけるものです。

(P.29参照)

1 避難先を記入する

 シートに書いてみよう! 

- ハザードマップなどを確認しながら避難する場所を決めて、マイ・タイムラインシートに記入しましょう。

※災害の種類によって、避難する場所が変わることがあるため注意が必要。



マイ・タイムラインをつくらう。

ここに避難先を記入します。

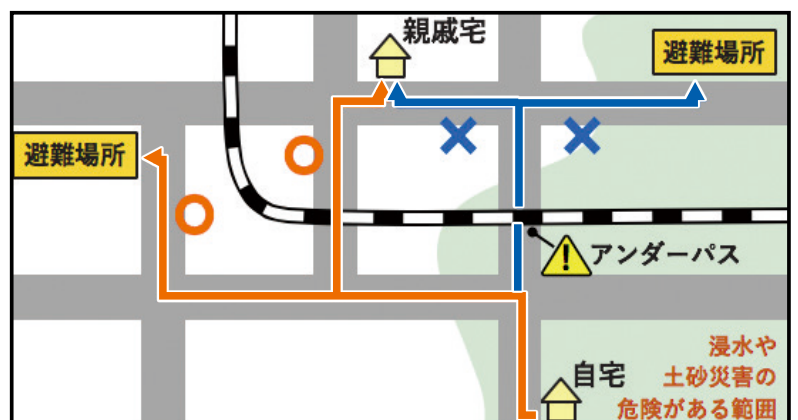


平成30年7月豪雨災害に関する県民の避難行動の調査結果からわかった大切なことです。

- 避難先は、市町が決めている「指定緊急避難場所」に避難することだけでなく、安全な親戚や知人の家などに避難するのも有効です。
- 「指定緊急避難場所」にこだわらない、避難先（商業施設やホテル、親戚の家など）を複数確保しましょう。
- 避難場所での滞在がイメージできるよう避難場所の設備や環境を確認しておきましょう。

- ハザードマップなどを見て、被害のおそれがある場所や低い場所などを避けて、できるだけ安全に移動できる避難ルートを決めましょう。

- できるだけ複数の避難ルートを決めておきましょう。

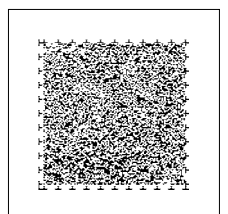


※指定緊急避難場所

災害種別ごと(洪水・がけ崩れ、土石流及び地すべり・高潮・地震・津波・大規模な火事など)に切迫した災害の危険から逃れるための施設または場所。

※指定緊急避難場所は、ハザードマップや市町のホームページなどから確認することができます。

その他に広島県の減災ポータルサイト「広島県『みんなで減災』はじめの一步」の避難所・避難場所検索からも確認することができます。



2 避難情報や気象情報から避難のタイミングを考える

避難情報

- 最も重要な情報は、市町が発令する避難情報です。
- 赤い線で囲まれた気象情報が発表された場合、市町から、状況に合わせて避難情報が発令されます。
※たとえ避難情報が発令されていない場合でも、同じ赤い線で囲まれた気象情報が出たら、避難を検討してください。
- 避難情報や気象情報をもとに、避難の準備や開始のタイミングを考えてみましょう。

マイ・タイムラインをつくろう。



※避難情報は必ずしもこの順番で発令されるとは限りません。



● 避難準備

避難の準備を始めましょう。

● 高齢者等避難開始

避難に時間を要する人（ご高齢の方、障害のある方、乳幼児など）とその支援者は避難を始めましょう。

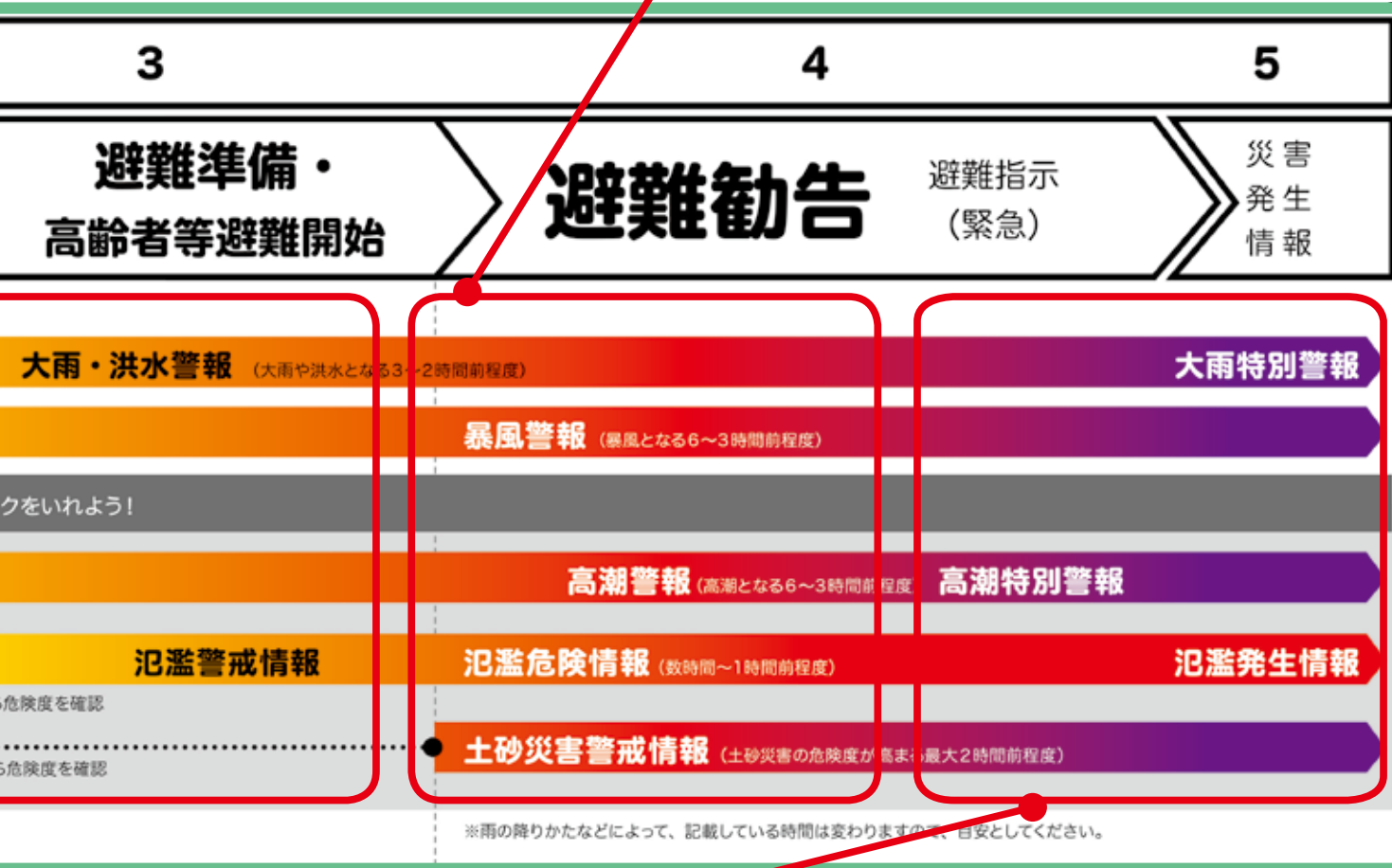
「避難行動判定フロー」で、自宅に留まり、安全確保をすることが可能な人も、避難行動について考えてみましょう。



避難先や避難のタイミングについては、「避難行動判定フロー」(40ページ)を参考にしてください。

● **避難開始**

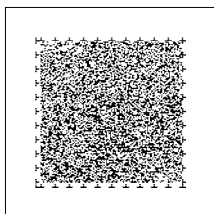
遅くともこの時には避難を始めましょう。



● **緊急避難**

まだ、避難をしていない人は、ただちに避難しましょう。

指定緊急避難場所などへの避難はかえって命に危険を及ぼしかねないと判断する場合には、近隣の安全な場所への避難や建物内のより安全な部屋(2階以上の山側の反対の部屋など)への移動をしてください。



3 避難開始・避難完了のシールを貼る

📖 シートに書いてみよう! ➡

- **2** で考えた避難開始のタイミングについて、「避難開始」のシールを貼りましょう。また、避難する人も「避難開始」のシールに記入しましょう。

※高齢者など早めの避難が必要な家族がいる場合は、早いタイミングで、「避難開始」のシールを貼りましょう。

※ **1** で記入した避難先ごとに、上下それぞれシールを貼りましょう。

例えば、おじいちゃんと一緒に避難する場合は、「私・おじいちゃん」と記入して、「避難準備・高齢者等避難開始」の下に避難先ごとに、貼りましょう。



- それぞれの避難先に安全に移動・到着するまでに必要な時間を踏まえて、「避難完了」のシールに避難する人を記入して貼りましょう。

4 避難開始までの行動を考えてシールを貼る

📖 シートに書いてみよう! ➡

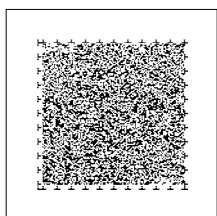
- **3** でシールを貼った「避難開始」までに、何をすべきかを考えましょう。

例えば、「避難する親せき宅へ連絡する」や「常用薬を用意する」など準備の内容とそれに必要な時間を「空白シール」に記入して貼りましょう。

※誰が準備するかなども考え、記入しておきましょう。

- 避難準備時間を、「全ての避難準備にかかる時間」のシールに記入して貼りましょう。

例えば「空白シール」に「お母さんが常備薬を用意する」と書いて貼りましょう。



5 地域に対しての行動を考えてシールを貼る

 シートに書いてみよう!

- 災害が起こりそうな時に、地域での役割がある場合は、地域の人などに呼びかけをしましょう。
- 地域の人などに呼びかけるタイミングを「空白シール」に記入して貼りましょう。

例えば「空白シール」に「お母さんが近所のおばあちゃんに避難の呼びかけ」と書いて、貼りましょう。



マイ・タイムラインをつくらう。



平成30年7月豪雨災害に関する県民の避難行動の調査結果からわかった大切なことです。



- 家族や親戚、顔見知りの方からの避難の呼びかけは、避難を促進することがわかっています。一人だけでは避難が不安な場合や自分は大丈夫と感じている場合でも、避難を呼びかけあうことにより、避難行動に結びつきやすくなります。
- 一人では避難が難しい方や、高齢者など避難に時間がかかる方もいます。日頃から、地域の人と、呼びかけるタイミングや呼びかける方法、呼びかける順番などを話し合い、呼びかける体制などをつくっておきましょう。

避難の呼びかけの重要性

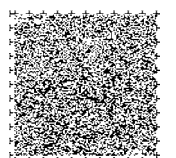
広島県では、平成30年7月豪雨災害において、避難行動をとった人が少なかったことから、避難行動の調査を行いました。この調査・分析結果において、周りの人から避難の呼びかけがあることが、早い段階での避難に繋がることがわかりました。避難した人からも、

「近所の方から、避難を呼びかけられたから」

「友人から、避難を呼びかけられたから」

と、避難を決めるきっかけになったとの証言が多くありました。

一人だけでは避難が不安な場合や、自分は大丈夫と思っている場合でも、避難を呼びかけ合うことが、避難行動に繋がります。地域で声をかけ合って、早めの避難に繋がしましょう。



避難への備えや家族との連絡方法を考える

- 避難する前に、必要なものを考えてみましょう。
- 避難する際に持っていく非常持出品は、避難時にすぐ持ち出せるようにリュックのような両手が使えて持ちやすいバッグに詰め、寝る場所の近くや玄関先に置いておきましょう。
- 非常時に一人が持ち出せる量は限られています。飲食物、救急用品、貴重品など、最初の1日をしのぐために必要なものを用意しましょう。
- 家族構成を考えて必要なもの、数を用意することも大切です。
- いざという時のために、どういう方法で家族と連絡をとるか、家族と話し合っ
て決めておきましょう。
- 避難の必要がない人も、水道や電気などのライフラインの寸断に備えて、
必要なものを備蓄しておきましょう。
- 避難先での感染症予防として、マスクやアルコール消毒液、体温計などを
用意しておきましょう。

マイ・タイムラインをつくろう。

【災害用伝言ダイヤル(電話サービス)】

災害用伝言ダイヤルは、災害の発生により被災地への通話が増え、電話がつながりにくくなった場合に提供されるサービスです。



【災害用伝言板(web171)】

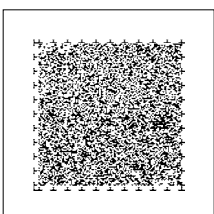
被災地の方々の安否情報を、インターネットを利用して確認できるサービスです。

被災地域内と他の地域を結ぶ声の伝言板。
【災害用伝言ダイヤル171】

利用ガイダンスにしたがってご利用ください。

伝言の録音方法	伝言の再生方法
1 171 にダイヤルする ▼ガイダンスが流れます	1 171 にダイヤルする ▼ガイダンスが流れます
2 録音する場合は 1 暗証番号を利用する 録音は「3」 ▼ガイダンスが流れます	2 再生する場合は 2 暗証番号を利用する 再生は「4」 ▼ガイダンスが流れます
3 (●●●●●●●●●●) 被災地の電話番号*、携帯電話・PHS・IP電話の電話番号をダイヤルしてください。 * 市外局番からダイヤルしてください。	3 (●●●●●●●●●●) 被災地の電話番号*、携帯電話・PHS・IP電話の電話番号をダイヤルしてください。 * 市外局番からダイヤルしてください。

※伝言は被災地の方の電話番号を知っているすべての方が聞くことができます。聞かれたくないメッセージを録音する場合は、あらかじめ暗証番号を決めておく必要があります。



<https://www.web171.jp>

web171

検索



非常時持ち出しグッズ一覧

※グッズをまとめる非常袋には両手が使えるリュックサックを利用しましょう。

必ず必要なもの

- 現金 預金通帳・印鑑 保険証・免許証 権利証

あると便利なもの

- 缶切り・ナイフ 雨具 軍手 カイロ ロープ
新聞紙 ポリ袋・レジャーシート ガムテープ・油性ペン

避難生活のために

- 飲料水 食料 下着・衣類 靴 寝ぶくろ
ティッシュ・タオル類 カセットコンロ・ボンベ マッチ・ロウソク

安全・安心・情報収集のために

- 救急セット・常備薬 懐中電灯 電池の予備 防災ずきん
手回しラジオ モバイルバッテリー・充電器

健康管理のために

- 常備薬 マスク 消毒液 救急セット
 (体温計、ガーゼ、絆創膏、包帯など)



家族構成を考えて必要なもの・数を用意する事も大切です。



小さな子供

- 母子健康手帳
おむつ・おしりふき
ミルク・哺乳瓶
おんぶひも など



高齢者

- 折りたたみの杖
常備薬・紙おむつ
老眼鏡・お薬手帳
折りたたみ椅子 など



ペット

- 迷子札・ペット手帳
ペットフード
常備薬・リード
ペットの写真 など

